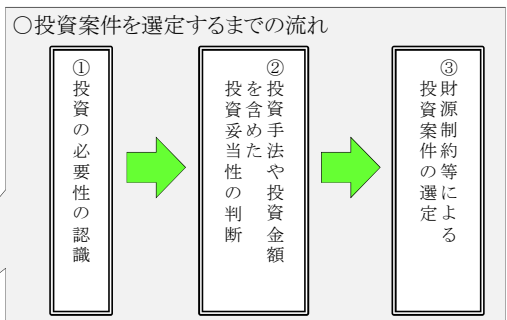


調査票(公営企業)

貴団体名	
会計名	
部署名	
ご担当者名	
電話	
E-mail	
回答日	



設問		回答記入欄	
1.投資判断の基準について			
1-1	<p>(①投資の必要性の認識) 既存の施設・設備の更新に関する要否をどのような目安(例:漏水発生度、劣化度、供給人口、経過年数、管きよの材質)で判断していますか。具体的に記載してください。</p>		
1-2	<p>(②収支予測等による投資妥当性の判断) 新設・増設投資案件に対して投資妥当性(必要性を認識したうえで投資するか否か=予算措置するか)をどのように判断(決定)していますか。選択肢から1つ選び、補足説明があれば記載してください。</p>	【補足説明】	<p>ア.投資計画等に基づき予算措置をしている(資本的収入の財源確保も行っている) イ.投資計画等を参考にはするものの、財源確保が困難であるため、計画通りの予算措置はできていない。(予算措置可能な範囲内で投資を行っている) ウ.その他(ア・イ以外の方法で予算措置している) エ.新設・増設投資案件はない。</p>
1-3	<p>(②収支予測等による投資妥当性の判断) 更新投資案件に対して投資妥当性(必要性を認識したうえで投資するか否か)をどのように判断(決定)していますか。選択肢から1つ選び、補足説明があれば記載してください。</p>	【補足説明】	<p>ア.投資計画等に基づき予算措置をしている(資本的収入の財源確保も行っている) イ.投資計画等を参考にはするものの、財源確保が困難であるため、計画通りの予算措置はできていない。(予算措置可能な範囲内で投資を行っている) ウ.その他(ア・イ以外の方法で予算措置している)</p>
1-4	<p>(③財源制約等による投資案件の選定) 限られた財源の中で建設投資案件に関する優先劣後をどのように判断(決定)しているか、具体的に記載してください。 また、具体的な基準、指標等を定めている場合は、その内容も教えてください。</p>		
1-5	<p>事業活動に用いている施設・設備のうち、法定耐用年数と実耐用年数が乖離している償却資産(管きよなど)がありますか。ある場合はその償却資産の種類と乖離の現状についてお答えください。</p>	償却資産の種類	乖離率(実耐用年数/法定耐用年数)

調査票(公営企業)

2.収益及び費用の予測手法について			
2-1	投資計画や経営計画において、どのように将来の収益を推計していますか。選択肢から1つ選び、補足説明があれば記載してください。	将来の利用者数(人口など)の推計方法	<p>【補足説明】</p> <p>ア.自団体の総合計画に掲げられた推計人口を使用して推計している イ.人口問題研究所が公表している推計人口を参考に推計している ウ.その他(ア・イ以外の方法で推計している)</p>
2-2		将来の料金収入の推計方法	<p>【補足説明】</p> <p>ア.過去の使用量の推移を基礎として推計している イ.将来の需要量を予測して推計している ウ.その他(ア・イ以外の方法で推計している)</p>
2-3	投資計画や経営計画において、どのように将来の収益を推計していますか。	将来の供給能力の推計方法	<p>【補足説明】</p> <p>ア.現在の供給能力と同等と想定している イ.稼働率や将来需要予測に基づき、現在の供給能力よりも縮小することを想定している ウ.稼働率や将来需要予測に基づき、現在の供給能力よりも拡大することを想定している</p>
2-4		将来の一般会計繰入金 の推計方法(公営企業繰出金の項目別)	<p>【補足説明】</p> <p>ア.過去の繰入金の推移を基礎として推計している イ.将来の繰入見込額を積算して推計している ウ.その他(ア・イ以外の方法で推計している)</p>
2-5		その他の収益要因に係る将来収益に関する推計方法	<p>【補足説明】</p> <p>ア.過去の推移を基礎として推計している イ.将来の収益予測を基礎として推計している ウ.その他(ア・イ以外の方法で推計している)</p>
2-6	投資計画や経営計画において、将来の費用をどのように推計していますか。変動費について選択肢から1つ選び、補足説明があれば記載してください。	動力費	<p>【補足説明】</p> <p>ア.過去の動力費の推移を基礎として推計している イ.将来の動力費の見込額を積算して推計している ウ.その他(ア・イ以外の方法で推計している)</p>
2-7		材料費・薬品費	<p>【補足説明】</p> <p>ア.過去の動力費の推移を基礎として推計している イ.将来の動力費の見込額を積算して推計している ウ.その他(ア・イ以外の方法で推計している)</p>
2-8		その他変動費	<p>【補足説明】</p> <p>ア.過去の変動費の推移を基礎として推計している イ.将来の変動費の見込額を積算して推計している ウ.その他(ア・イ以外の方法で推計している)</p>

調査票(公営企業)

2.収益及び費用の予測手法について		
2-9	投資計画や経営計画において、将来の費用をどのように推計していますか。固定費について選択肢から1つ選び、補足説明があれば記載してください。	<p>職員要員数</p> <p>【補足説明】</p> <p>ア.過去の職員要員数の推移を基礎として推計している イ.将来の業務量を基礎として推計している ウ.その他(ア・イ以外の方法で推計している)</p>
2-10		<p>職員給与費</p> <p>【補足説明】</p> <p>ア.過去の職員給与費の推移を基礎として推計している イ.将来の職員要員数を基礎として推計している ウ.その他(ア・イ以外の方法で推計している)</p>
2-11		<p>修繕費</p> <p>【補足説明】</p> <p>ア.過去の修繕費の推移を基礎として推計している イ.将来の修繕費の見込額を積算して推計している ウ.その他(ア・イ以外の方法で推計している)</p>
2-12		<p>委託費</p> <p>【補足説明】</p> <p>ア.過去の委託費の推移を基礎として推計している イ.将来の委託費の見込額を積算して推計している ウ.その他(ア・イ以外の方法で推計している)</p>
2-13		<p>減価償却費</p> <p>【補足説明】</p> <p>ア.過去の減価償却費の推移を基礎として推計している イ.将来の減価償却費の見込額を積算して推計している ウ.その他(ア・イ以外の方法で推計している)</p>
2-14		<p>支払利息</p> <p>【補足説明】</p> <p>ア.過去の支払利息の推移を基礎として推計している イ.将来の支払利息の見込額を積算して推計している ウ.その他(ア・イ以外の方法で推計している)</p>
2-15		<p>負担金</p> <p>【補足説明】</p> <p>ア.過去の負担金の推移を基礎として推計している イ.将来の負担金の見込額を積算して推計している ウ.その他(ア・イ以外の方法で推計している)</p>
2-16		<p>その他固定費</p> <p>【補足説明】</p> <p>ア.過去の固定費の推移を基礎として推計している イ.将来の固定費の見込額を積算して推計している ウ.その他(ア・イ以外の方法で推計している)</p>

調査票(公営企業)

3.料金設定について		
3-1	料金をどのように設定していますか。選択肢から1つ選び、補足説明があれば記載してください。また、原価以外の考慮要素(例:近隣自治体との均衡、住民サービスの観点から政策的に低料金に設定など)があれば、その具体的な内容を記載してください。	<p>【補足説明】</p> <p>ア.総括原価方式(料金算定要領等に基づく方法) イ.資金収支積み上げ方式(料金算定期間における収支均衡をベースとする方法) ウ.その他(ア・イ以外の方法)</p>
3-2	施設・設備の更新財源を料金で確保していますか。選択肢から1つ選び、補足説明があれば記載してください。	<p>【補足説明】</p> <p>ア.総括原価に資本維持費を上乗せして確保している イ.資金収支見通しに加味することで確保している ウ.その他(ア・イ以外の方法で確保している) エ.確保できていない</p>
3-3	料金改定をどのように実施していますか。料金改定の頻度及び料金改定が実施されるまでの決定手続きや実施までの手続き、スケジュールについて教えてください。	
3-4	料金収入で必要経費を賄えていますか。賄えていない場合は、料金改定ができない理由を教えてください。	
3-5	過去に料金改定を実施した実績がある、または今後実施する予定にある場合は、留意した／している点や苦労した／している点を教えてください。	

調査票(公営企業)

4.建設投資額を制限する要素について		
4-1	現在及び将来の建設投資額について財源が手当てされていますか。また、手当てされていない場合はその原因は何ですか。	
4-2	公営企業又は及び地方公共団体全体の財務健全性を確保するために建設投資額の上限を設定していますか。 具体的な基準、指標等を定めている場合は、その内容も記載してください。	
4-3	単年度の長期借入(企業債)の上限をどのように設定していますか。(例:起債充当率の設定、内規で規定、財政当局との調整など) 具体的な基準、指標等を定めている場合は、その内容も記載してください。	
4-4	単年度の一般会計等からの繰出金の上限をどのように設定していますか。(例:繰入率の設定、内規で規定、財政当局との調整) 具体的な基準、指標等を定めている場合は、その内容も記載してください。	
4-5	借入(企業債)残高の上限の設定や適正規模をどのように判断していますか。 具体的な基準、指標等を定めている場合は、その内容も記載してください。	
4-6	現行の建設改良事業に対する公営企業繰出基準に関してご意見があればお答えください。(財政措置の拡充に関するご意見をお答えの場合は、その根拠についても合わせてお答えください。)	
5.施設稼働後のモニタリング方法		
5-1	施設整備の際等に策定した個別資産にかかる計画や料金改定検討の際等に策定した企業全体にかかる計画に対して、実績との検証や評価をどのように行っていますか。 具体的な検証・評価方法について記載いただくとともに、所管省庁や議会、住民への報告書等がありましたらご提供ください。	
5-2	当初の計画と実績に乖離がある場合(稼働率や経営指標が計画を下回ってる場合等)、どのように対応しているか、具体的に記載してください。	
6.その他		
6-1	建設投資額の縮減や更新財源確保のために、ストックマネジメントの実施、施設の統廃合の実施、民間企業への委託等を実施した実績があれば、その内容、経緯(判断理由・根拠)、留意点、当該留意点に対する対応策、評価(財政効果など)について、具体的に記載してください。	
6-2	将来の更新資金を企業内に積み立てていますか。建設改良基金等の設置、使用までの運用方法など、具体的な取組内容も含めて記載してください。	